

【観光遺産産業化ファンド】 株式会社梅小路まちづくりラボおよび 株式会社梅小路まちづくりラボ不動産に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、本日、株式会社梅小路まちづくりラボ（以下「ラボ」という。）および株式会社梅小路まちづくりラボ不動産（以下「ラボ不動産」という。）への投資を実行するとともに、両社に対して専門家を取締役として派遣したことをお知らせいたします。

なお、今回の投資は、本ファンドの第4号案件となります。

ラボおよびラボ不動産は、ものづくり産業、食産業、観光産業等の課題と向き合い京都の未来を切り開くべく、「梅小路京都西駅エリア」（※1）の「クリエイティブタウン」（※2）化の推進を目的として新設された会社です。既に、ラボについては、本年3月1日付けで、株式会社めい、株式会社51ActionR&D、株式会社Monozukuri Ventures Holdings、一般社団法人京都試作ネット、株式会社ビバ、京都青果合同株式会社、株式会社野田屋、有限会社浅見水産、本政和好、DMG森精機株式会社、京都リサーチパーク株式会社、京都信用金庫および京都中央信用金庫の13者からの出資が実行されており、本ファンドからの投資実行により、全ての出資が完了いたしました。

※1 「梅小路京都西駅エリア」:京都市下京区朱雀宝蔵町および朱雀分木町に立地する京都市中央卸売市場と市場場外周辺、梅小路公園周辺、京都リサーチパーク地区を含む七本松通りの東西、島原周辺等と定義

※2 「クリエイティブタウン」:ものづくり、先端技術、アートやデザイン、食文化を含む京都の伝統文化、観光業、グローバルな知見等を掛け合わせ、イノベーションを誘発し、グローバルに通用するものづくり産業を育成し、アートと京都の食文化を醸成し、またそれらの活動に関心を持つ方々、参画する方々を世界から誘引し、『参画型来訪』という新しい観光資源と観光スタイルとを創造する街

今後、ラボおよびラボ不動産は、遊休不動産の活用等を通じて同エリアに情報発信基地および地域コミュニティ拠点を構築し、京都の文化資源や観光資源との有機的な連携を図りながら人々の参画型来訪を促進し、地域産業のイノベーションを誘発するとともに、オーバーツーリズム等の京都観光が抱える課題の解決にも貢献していきます。

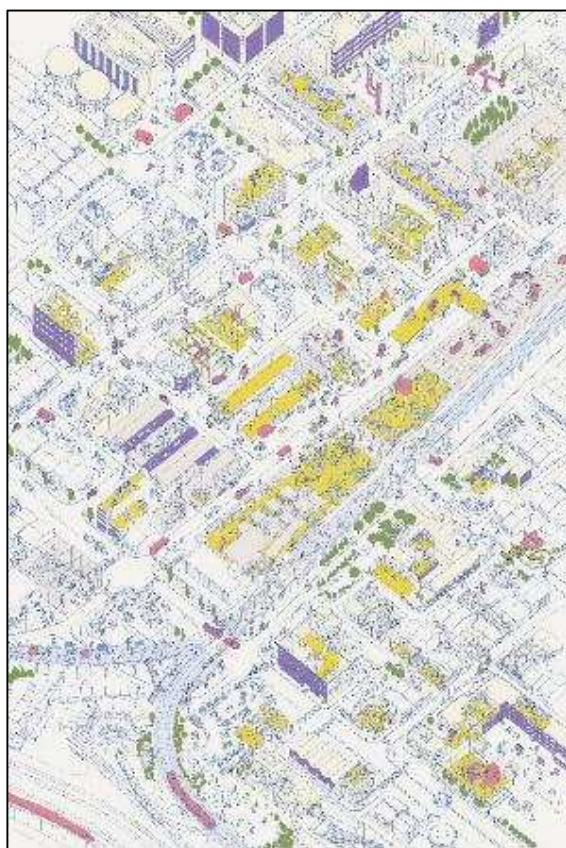
本ファンドは、今後も各地の地域事業者への出資や経営支援を行うことで、観光産業その他の地域産業の発達を促進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

投資先および特定専門家(取締役)派遣先の概要は以下のとおりです。

会社名	株式会社梅小路まちづくりラボ
所在地	京都府京都市
代表者	代表取締役 藤崎 壮滋
事業内容	・地域資源を活用した地域活性化に関する事業 ・地域交流拠点経営 ・観光地域づくりのためのマーケティングおよびプロモーション

会社名	株式会社梅小路まちづくりラボ不動産
所在地	京都府京都市
代表者	代表取締役 藤崎 壮滋
事業内容	不動産流通事業

【参考資料】



[梅小路京都西駅エリアの賑わいの将来像]



[交流拠点のイメージ]

梅小路京都西駅エリアのクリエイティブタウン化構想が目指すもの

梅小路京都西駅エリアのクリエイティブタウン化推進を通じて、新しい観光「参画型来訪」の促進と地域経済の面的活性化を図る



5

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html> 機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590